

県会議員 奥村のり子の
しんぶん 赤旗読者ニュース
 2013年12月22日 第113号
 —奥村のり子生活相談所—
 〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
 ☎ & FAX 073-427-7121

老後の安心、若者の使い捨て

一般質問で登壇

12月11日、県議会本会議
 で一般質問しました。

国の介護保険部会で検討
 されている、要支援者から
 介護保険給付を取り上げ市
 町村事業に丸投げすることに
 を批判。財政難の自治体が
 メニューを絞り込みポランティア
 等の専門職以外の方に
 まかせるなど、必要な支援
 体制が整えられないと訴え
 ました。

また、介護保険制度の枠内
 に限定せず老人福祉法の活
 用などで高齢者福祉を充実
 させることや、賃金が産

「これでいいのか、NHKの異常報道 まるで首相ごよる乗っ取りでは？」

16日付け日刊赤旗の「NHKに今、何が？」の記
 事を読んで、公共放送を安倍晋二という人の息の
 かかった人物で乗っ取りだと思った。稀代の悪法と
 言われる秘密保護法が衆議院で審議入りする直前
 に、NHK経営委員会に安倍首相に近い4人を推
 し、自民、公明、維新、みんなの党が賛成して送り込
 んだ。その中に「日本国憲法の 平和主義」は国家主
 権の放棄、…全くめっちゃくちゃな憲法」と公言する
 人物や、もし他国が日本に攻めてきたら9条教の
 信者を前線に送り出す」と語る人物などだ。そして
 秘密保護法が強行成立した6日夜は法の中身はそ
 うのけで、同盟国アメリカと高度な情報を共有し
 ながら、自衛隊の「歌姫」を長々と伝えるなど、まるで
 政府の応援的な異常な放送が続いたと言いつつ。

また驚いたのは、2001年当時安倍氏が内閣官
 房副長官の時、自分の気に入らない番組について、
 放送総局長を呼びだし、ただではすまないと、勘
 ぐわしと言ったこと。いざいざ現場は萎縮しまし
 た。もな番組は作れないだろう。いざいざ近くお気
 入り人物を次期会長に据えようのだから。視聴者の
 受信料で成り立つ公共放送の危機である。編集室

のり子の週間日誌(主なもの)

- 12月20日 市駅前早朝宣伝、視察
- 21日 街頭宣伝、現代史学習会、懇親会
- 22日 党内会議、河北ブロック後援会
- 23日 地域訪問
- 24日 病院訪問
- 25日 病院訪問、河西診療イボランティヤ
- 26日 無料生活相談日



した。これについては、紙面の都
 合で割愛しますが、日刊赤旗1
 8日付け13面や、党県議団の
 ホームページでも掲載する予定
 ですのでよろしくお願いま
 す。(G.M.)

本年もお世話になりました よいお年をお迎え下さい

今年最後のニュースとなりました。皆様には大変お世話に
 なりありがとうございました。次の赤旗日曜版は、12月29日
 号と1月5日号の合併号で、新年号として分厚くなり、読者ニ
 ュースの発行はありません。また1月12日付けからよろしくお
 願い申し上げます。なにとぞ、よいお年をお迎え下さい。

業平均より大幅に
 低く人材不足が深
 刻な介護職の処遇
 改善 養成強化を
 求めました。
 福祉保健部長

は介護保険料が2段階以下
 の低所得者が全国平均19%
 に対し本県は25.3%と多
 く、悩みや不安、様々な困りご
 ともあるものと認識。市町村
 で事業が円滑にでき格差が生
 じないよう支援する。介護分
 野の新規就業キャリアアップ
 を支援し、事業者に介護職員
 処遇改善加算の活用を働きか
 けていると答えました。
 「坂知事は、所得が低い
 人でも老後は安心と思える制
 度整備が大事」と答えました。
 わたしは、いよいよ若者の
 使い捨てについて質問しま

国産玉虫厨子展

12月14日、和歌山大学構
 内で「2013科学まつり」が
 行われ、お誘いを受け参加し
 た。まつりは2000年から
 スタートし、毎年開催されて
 います。

専門家の教授、支援者たち
 が物理、化学、生物、地学など
 の分野で約40ブースの企画
 で催されていました。参加者
 は子供、保護者同伴です。今年
 も盛況で参加者は1千人を越
 えていたと聞いて。

元素構造の変化で物質
 は？「化石を作る」「野菜
 で電気を起こす」「昆虫の不
 思議を覗いてみよう」「淡水と
 海水を混ぜたら・・・」「圧空ロケ
 ットを飛ばそう」等々の多彩

和歌山大学「おもしろ科学まつり」に参加して



な企画が盛り込まれている。
 生物教室では身近な動物の骨格と同
 時にクマゼミの触手や口元の顕微鏡に
 は多くの子供達の歓声が聞かれます。
 また「玉虫」の羽根の緑色のグリーニ
 ャンの光沢の不思議は私も驚きました。
 なかでも法隆寺の国産玉虫厨子は
 36,000枚の玉虫の羽根の光沢を利
 用し貼り付けたもので、飛鳥時代を代
 表する美術品ですが、1300年を経て
 も、今なお緑色を主とした虹色のグラ
 デーションの輝きを残す不思議は驚く
 ばかりです。

科学まつりに参加した多くの子供
 の中から、何人かの科学者がうまれるこ
 とを期待している。

今年、最後の「奥村ニュース」となりま
 したが、国政、県政、市政を問わず少し
 でも暮らしを支える政治をめざしてい
 緒にがんばりましょう！

党市議会議員

渡辺 忠広



和歌山法隆寺、国産玉虫厨子